

2月になりました

木を見上げると新芽が出ていました。寒い中でも、少しずつ春が近づいていることを感じます。平素は、本校教育活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

今日から2月の学校生活が始まりました。月初めには、席替えをする学級があります。1年生の教室から「席替えをします」という担任の声の後、大きな歓声が聞こえてきました。この学級では、席替えを楽しみにしている児童がたくさんいると感じました。同じ教室でも席が替わると、ちょっとした「環境の変化」が起こり、「次はどんな席になるんだろう?」「近くの席の友達はだれかな?」と、楽しみや希望に繋がり、歓声が上がったのだと思います。

学校は、様々なことを学ぶ場です。学習はもちろんのこと、様々な人と出会い、関わり合いながら社会の中で生きていく力も育む大切な場所だと考えています。時には意見が食い違ったり、思い通りにいかないことがあったりしますが、一つ一つの経験が人間関係の学びになっています。子供たちは、友達とかかわる中で、「自分の気持ちを伝えること」「相手の思いに気付くこと」「うまくいかなかったときにどう向き合うか」等、豊かな人間関係の力を身につけていきます。

一方で、子供たちが話す出来事には、「ちょっとした行き違い」なのか「いじめにつながる可能性があるのか」判断が難しいこともあります。学校では、子供たちの表情や言動に目を向けながら、早期に気づき、適切に対応することを大切にしています。子供自身が問題を乗り越えようとする力を育てつつ、不安や危険のサインが見られたときには速やかに対応したいと考えています。保護者の皆様の中にも、どこで手を差し伸べるべきか、かかわるタイミングについて悩まれる方もいらっしゃると思います。すぐに手を差し伸べてしまいたくなる気持ちをそっと胸にしまい、子供たちを信じて見守っておられる方もいらっしゃると思います。私たち大人は、子供の話に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら子供自身が解決へ踏み出そうとする力を育てつつ、必要なときにはためらわず守る姿勢も大切にしていきたいところです。

ここまでは、嫌な気持ちになった人について書いてきました。反対に、人の気持ちを考えずに行動してしまい、反省する人もいます。その場合は、してしまったことを確認し、その時の気持ちを振り返り、どのような行動をすべきだったのかについて考えます。自分の行動に気づき、振り返り、対処法、次の行動について考えることが、その後の人間関係をよりよくしたり、考えて行動する力に繋がったりすると考えています。そして、私たち大人は、その過ちは、「その時のその行動」であって、「その子の全て」と捉えないようにしたいです。「あの子がよくない」のではなく、「あの子のあの時のあの行動がよくなかった」のです。子供は日々成長しています。我が子も、附属小学校の子供たちも、地域の子供たちも、失敗もしながら成長していく子供たちの成長を温かく見守り支える大人でありたいと思います。

「釈迦に説法」のような話で、申し訳ありません。ご家庭と学校とで同じ方向を向いて、子供たちを育てていければと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

学校アンケートを本日より実施します。ご協力よろしくお願いいたします。

寒い日が続いています。早寝、早起き、バランスのよい栄養で、この寒さを乗り越えましょう。2月もよろしくお願いいたします。



(文責 齋藤 昌代)